

# 市長と おしゃべり しませんか？

今回は知的障がいのある方などと、お話ししてきました。



## テーマ 住み慣れた街で働きたい、暮らしたい

今年4月から施行される障害者自立支援法を主な話題として、真剣な対話が行われた今回の「おしゃべり」。知的障がいのある方が抱く疑問、不安について、率直なやりとりが行われました。

■日時／平成17年12月20日(火)午後2時～4時  
■会場／教育文化会館 ■参加人数／約140人

### 私たちの意見を反映して



緑花会施設職員 松井まついさん

市長は、障害者自立支援法そのものを、どのように受け止めているのか、聞かせてください。

札幌報恩会・保護者 伊藤いとうさん

障害者自立支援法は、国会審議において、当事者の意見を十分に聞くことなく成立した印象があります。市として、今後当事者の意見を聞く機会などを設けてもらいたいと思います。



市長から 障がいのある方の自立を支援するという法律の考え方自体は悪くないものの、実態の検証が不十分な面があると思います。今後、市として、皆さんの意見をきちんとお聞きし、その内容を整理した上で、指定都市市長会などを通じて政府へと伝えていくことも、十分にできると考えています。

### 新制度PRに向けた市の取り組み

- ・制度の概要や変更点などを説明する市民説明会を実施
- ・障がい福祉サービスの利用者や、自立支援医療の対象者へ手続きの案内を個別に郵送
- ・障がい者団体などの学習会へ講師などを随時派遣

このほか、3月中に障がいのある方の生活状況や要望を把握するためのアンケート調査を実施する予定です。

### 障害者自立支援法の特徴

- 障がいの種類(身体、知的、精神)にかかわらず市町村が一元的に共通のサービスを提供
- 利用したサービスの量や所得に応じた公平な利用者負担
- 就労支援の抜本的な強化



### 今の暮らしを将来も続けたい

しょうじ 東海林さん

わたしは、グループホームと通所施設を利用していますが、これから年を取っても、今の暮らしができるようにしてほしいです。

市長から

障がいのある方々は特に苦勞してきた分、将来に不安のない社会でなければならぬと思います。そのため、市としては、制度の運用の仕方を工夫するなどの努力をしていきます。



### さらなる就労支援を



こしま Yui・たかしま保護者 小島さん

障がい者が就職し、自立を助けるのが自立支援法の意義だと思います。その実現のために、知的障がい者でも就職ができるような、本格的な支援体制を整えてほしいです。

市役所から

ハローワーク(公共職業安定所)などと連携したり、通所授産施設を増やしたりするなど、働く場の確保に市も努めています。しかし、まだ十分ではなく、今後障がいのある方が働いていける環境づくりにさらに努めていきます。

### 「元気ショップ」計画が進行中!

障がいのある方の社会参加、就労支援のための販売所「元気ショップ」を、大通駅コンコースに、今秋までに開設する計画です。開設後は、障がいのある方が作業所などで製作した商品を販売していきます。



市役所地下1階で行われた、障がいのある方が製作した商品の販売会の様子